

# 富津市教育施策

(平成 28 年度～平成 32 年度)

豊かな心を育む教育と  
文化の香るまち



あーたか、ふっ

平成 28 年 12 月

富津市教育委員会

# 目次

## ■ 第1部 学校教育の充実

目的	1
現状と課題	1
施策指標	2
展開施策	3
主な事業	5

## ■ 第2部 生涯学習の充実

目的	6
現状と課題	6
施策指標	7
展開施策	7
主な事業	7

## ■ 第3部 青少年健全育成の推進

目的	8
現状と課題	8
施策指標	8
展開施策	9
主な事業	9

■ 第4部 スポーツ・レクリエーションの振興

目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10  
現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10  
施策指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10  
展開施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11  
主な事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

■ 第5部 文化・芸術活動の推進

目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12  
現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12  
施策指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12  
展開施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12  
主な事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

■ 第6部 文化財の保護と活用

目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14  
現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14  
施策指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14  
展開施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15  
主な事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

# 豊かな心を育む教育と文化の香るまち

## 第1部 学校教育の充実

### 目的

#### 富津を愛し、富津の未来を託せる児童・生徒の育成

心身共に健康で確かな学力を身につけた、ふるさとの未来を託せる児童・生徒の育成のため、教育力の高い学校づくりに努めます。

また、児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、教育環境の整備に努めます。

### 現状と課題

急速な情報化や技術革新によるグローバル化は社会に多様性をもたらし、生活にも大きな変化が生まれてきています。こうした変化は子どもたちの成長を支える教育の在り方にも影響を及ぼし、学校の果たすべき役割はますます重要性を増し、学校への要求も多様化・高度化しています。今後の教育活動においては、児童・生徒の心と身体を鍛えることと同時に、基礎的な知識と技術を習得させ、これらを活用して自ら課題を発見し、解決する力「主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニングの視点)」を育てることが必要になります。

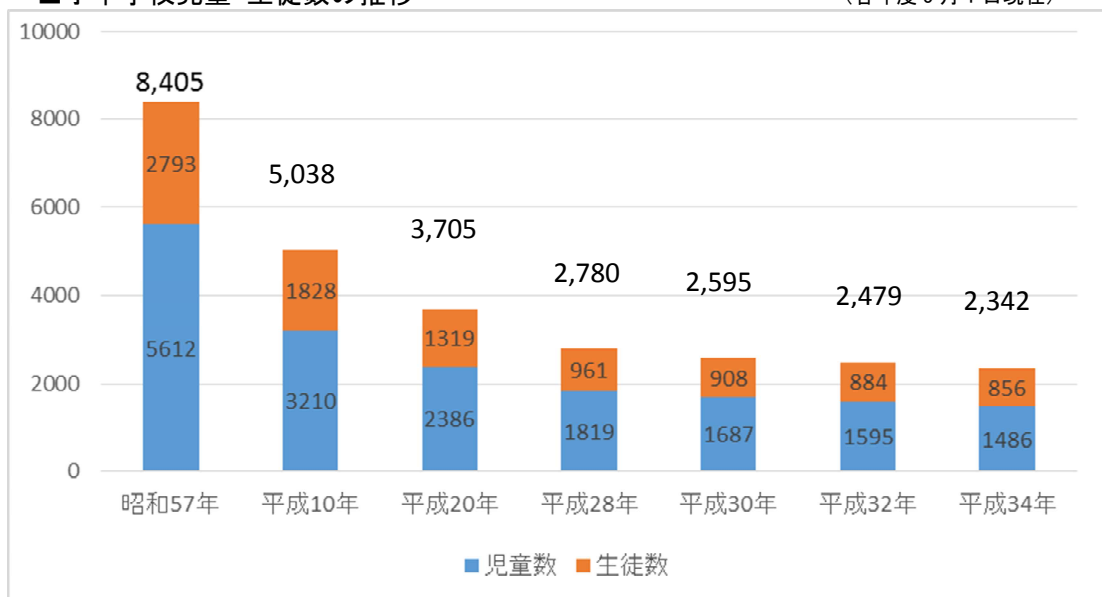
また、小学校における外国語・道徳の教科化や情報教育推進などの課題に対応しながら、個に応じたきめ細かな指導を展開し、特別支援教育やいじめ、不登校、問題行動などにも適切に対処していく必要があります。

そこで、教職員の力量の向上に努めるとともに、小・中学校の連携や地域住民との連携を大切にして、信頼される学校づくりを進めます。

さらに、児童・生徒のよりよい教育環境づくりのために、老朽化した校舎の改修や、小中学校の再配置計画により適正規模に近い教育環境の中で、児童・生徒がたくましく、健やかに成長できるよう努めていきます。

## ■小中学校児童・生徒数の推移

(各年度 5月1日現在)



資料 学校教育課

## 施策指標

### きめ細やかな指導のために配置された指導員数

	27年度(現状値)	32年度(目標値)
外国語指導助手(ALT)	3 人	3 人
自立支援指導員	4 人	4 人
学校適応指導相談員	2 人	2 人
指導補助教員	5 人	7 人
英語指導員	3 人	6 人
特別支援教育指導員	5 人	8 人
読書指導員	0 人	3 人

### 学力向上推進事業

	28年度	32年度(目標値)
保護者アンケートによる「子どもが確かな学力を身につけるための取組」に対する保護者の肯定的な評価の割合	79.9% <sup>※1</sup>	90%

※1 平成28年度実施のアンケート調査結果による数値より

教職員研修推進事業、社会科副読本編成事業		
	28年度	32年度
自分の地域を肯定的にとらえられる子どもの割合	84.0% <sup>※1</sup>	90%
教職員が地域に関する理解を深め、教育の質の向上を図ることにより自分の地域の良さが回答できる子どもの割合	— <sup>※2</sup>	70%

体力向上プログラムを活用した教科体育の充実		
	27年度(現状値)	32年度(目標値)
運動能力証交付率(県平均との比較)	139.0%	148.0%
体力・運動能力調査で県平均を上回った調査項目 <sup>※3</sup> の割合	72.9%	80%

子ども110番の家、地域子ども見守り隊事業		
	27年度(現状値)	32年度(目標値)
子ども110番の家の協力軒数の割合	13%	17%
地域子ども見守り隊員数の割合	20%	29%

## 展開施策

### 1 確かな学力を身につけた児童・生徒の育成

#### (1) 学力の向上

基礎基本の習得と「自ら学び、思考し、表現する力」の育成のため、指導補助教員を配置することにより、きめ細やかな指導を推進し、児童・生徒の学ぶ意欲を引き出し、児童・生徒の学力の向上に努めます。

※2 調査未実施

※3 体力・運動能力調査項目は8(項目)×9(学年)×2(男女)=144項目を指す

## **(2) 教職員研修の充実**

小学校外国語・道徳の教科化及びアクティブ・ラーニングの推進など、新たな教育課題に向き合うための教職員研修の充実を図りながら児童生徒の実態に応じた指導の展開に努めます。

## **(3) 外国語活動の充実**

平成32年度から外国語活動が3、4年生に前倒しされ、5、6年生で教科化されるのを見据え、外国語指導助手（ALT）・英語指導員を配置することにより、外国語学習を充実させ、児童・生徒の国際感覚の基礎を培い、コミュニケーション能力の育成を図ります。

## **(4) 特別支援教育の充実**

障がいのある、またはその疑いのある児童・生徒の個々の状況や発達段階に応じた必要な支援を行うために、特別支援教育指導員を配置し、一人一人の教育を保障し、指導体制の充実に努めます。

## **2 心豊かでたくましい児童・生徒の育成**

### **(1) 富津市の環境や風土を生かした学習の推進**

郷土の歴史や文化・産業の理解を深めるため、社会科副読本「わたしたちの富津市」の興味深くわかりやすい編集と活用に努めるとともに、生涯学習課と連携し、名所・歴史的遺構への見学・体験的学習の機会充実に努めます。

### **(2) 生徒指導上の課題の解決**

長期欠席・不登校、いじめ、問題行動などの課題に対応するため、各学校間や関係機関との連携を強化するとともに、適応指導教室指導員や自立支援指導員の活動の充実、教育相談体制の充実に努めます。

### **(3) 体力向上プログラムを活用した教科体育の充実**

正課体育をはじめとした学校での活動全体を通して、児童・生徒の体力・運動能力の向上のため、体力向上プログラムを活用し、系統的・継続的な取り組みの充実に努めます。

### 3 児童・生徒の成長を支える教育力の高い学校づくり

#### (1) 学校再配置計画の推進

児童・生徒の減少にともない、学校の小規模化が進み様々な問題が生じていることから、富津市小中学校再配置構想に基づく再配置計画を策定し、児童・生徒のよりよい教育環境作りに努めます。

#### (2) 学校安全教育・防災教育の充実

子どもたちが安全・安心に登下校や学校生活を送ることができるように、小中学校・PTAの方々・地域の方々と連携をして、「子ども110番の家」の設置や「地域子ども見守り隊」の活動を推進します。また、危険に遭遇した場合でも子どもたちが自ら回避できるように、関係機関の協力のもと、事件や事故、災害から身を守るための防犯知識や災害対応知識を身につける体験学習の充実に努めます。

#### (3) 学校・給食施設の整備

安心・安全な教育環境づくりのため、富津市小中学校再配置構想に基づく再配置計画との整合を図りながら、天井材等の非構造部材の耐震化及び老朽化施設解消に向けての学校施設整備基本計画を策定し、計画的な整備を推進します。

また、学校給食充実のため、富津市学校給食施設整備の指針に基づき調理場の統廃合及び施設・設備の改善について検討します。

#### 主な事業

事業名	担当課
学校施設整備事業	教育総務課
子ども110番の家、地域子ども見守り隊事業	学校教育課
特別支援教育指導員配置事業	学校教育課
学力向上推進事業	教育センター
外国語指導助手配置事業	教育センター
教職員研修推進事業	教育センター



## 第2部 生涯学習の充実

### 目的

#### 富津で学び、富津で活かせる、学習環境の整備

市民一人ひとりが生涯にわたって学ぶことができ、その成果を活かすことのできる多様な学習機会の拡充と、学習活動施設の整備に努めます。

### 現状と課題

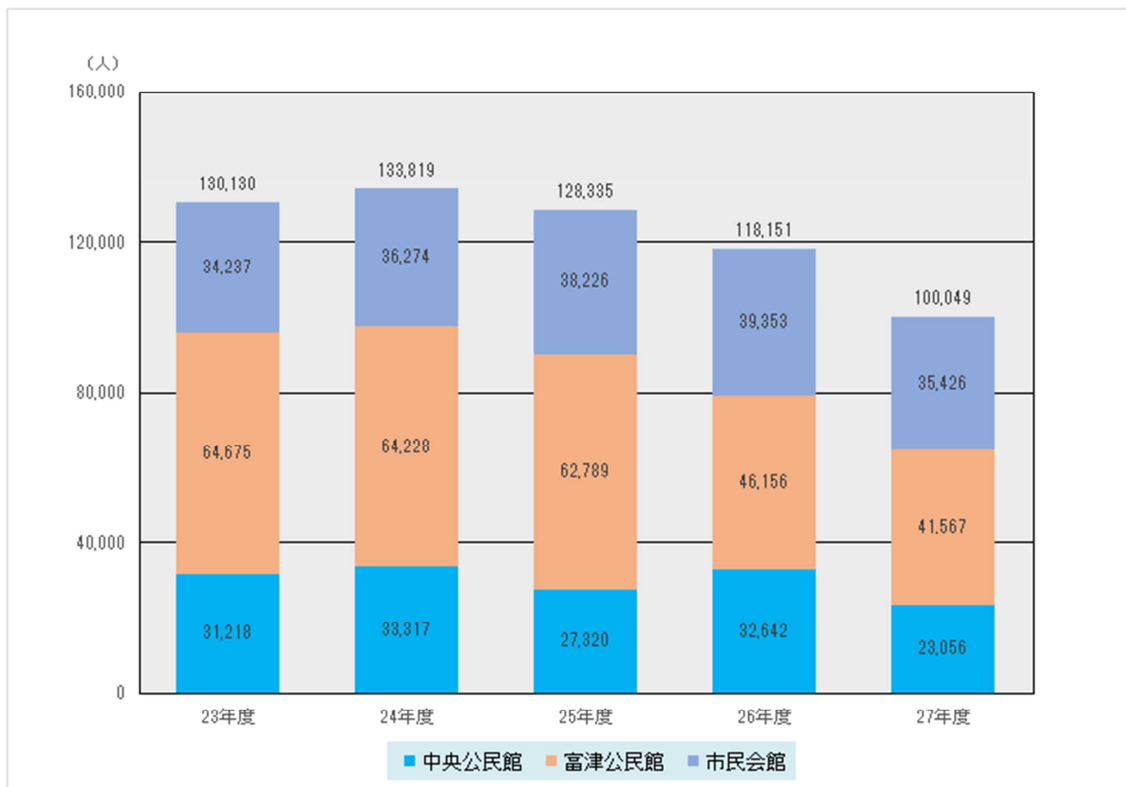
情報化や国際化の進展など社会環境が大きく変化する中、市民の生涯学習への要求も多様化、高度化しつつあります。

このため開設する講座の内容の充実にも努めなければなりません。

一方、家庭における教育機能の低下や地域連帯意識の希薄化なども指摘されており、社会教育団体や地域を担うリーダー養成に取り組む必要があります。

こういった様々なニーズに対応するためにも、生涯学習の拠点である公民館などの施設の充実は重要な課題であり、老朽化した施設・設備について、改修等の整備が求められています。

#### ■公民館・市民会館利用状況



資料 富津公民館・中央公民館・市民会館

## 施策指標

指標名	平成 27 年度 (現状値)	平成 32 年度 (目標値)
公民館・市民会館利用者数	100,049 人	110,000 人
人材バンク「まちの先生」の 利用件数	45 件	90 件
図書利用冊数	25,260 冊	26,000 冊

## 展開施策

### 1 学習機会の拡充と支援体制の充実

市民がそれぞれのライフステージ<sup>※4</sup>に応じた学習活動ができるよう、学習意欲を喚起する各種講座を開設し、市民の参加を促進します。

また、生涯学習情報提供誌を発行して学習の機会を周知し、人材バンク「まちの先生」の登録と利用を促します。さらに、社会教育指導員・家庭教育指導員、専門職員等の配置等による指導体制の整備などにより、学習の支援の充実に努めます。

### 2 社会教育関係団体の育成

各種講座の充実に努めるとともに、サークルなど社会教育関係団体の活動支援・育成に努めます。

### 3 生涯学習施設の整備

既存施設の老朽化が進む中、公共施設等総合管理計画に基づいて市民が利用しやすい環境整備に努めます。また、図書施設のネットワーク化を進め、利用者の要求に速やかな対応が図られるよう努めます。

## 主な事業

事業名	担当課
公民館、市民会館学級・講座事業	公民館
生涯学習推進事業	生涯学習課
図書館関係事業（ブックスタート事業）	生涯学習課
移動図書館事業	生涯学習課
生涯学習バス設置事業	生涯学習課

※4 ライフステージ…人間の一生を幼年期・青年期・壮年期・老年期などに分けたそれぞれの段階

## 第3部 青少年健全育成の推進

### 目的

#### 富津をつくる、たくましい青少年

次代を担う青少年が、自他共にかげがえのない存在であることを認識し、また社会の一員であることを自覚し、自ら進んで社会参加できるよう、家庭・学校・地域が連携して青少年の健全育成を支援します。

### 現状と課題

青少年を取り巻く環境は大きく変化しています。特に携帯電話やインターネットをはじめとする情報化の急速な進展に伴い、保護者の目の届かないところで青少年が巻き込まれるトラブルや犯罪が続発しています。

また、いじめや不登校の解決、さらに不審者からの安全確保などが今日的な課題となっています。

このため、家庭・学校・地域・関係機関が一体となって、健全な育成環境の整備に取り組むことが重要です。

### 施策指標

指標名	平成27年度 (現状値)	平成32年度 (目標値)
青少年相談員連絡協議会事業の参加者数	943人	1,000人
子ども会育成連絡協議会事業の参加者数	263人	300人
家庭教育学級の参加者数	609人	800人

## 展開施策

### 1 健全育成活動の推進

次代を担う青少年が社会の一員であることを自覚し、自ら進んで社会参加できるよう、家庭・学校・地域が一体となった青少年の安全確保と健全育成のための環境づくりを促進します。

PTA、子ども会、青少年相談員やスポーツ少年団など地域の青少年育成団体の活動を支援し、心身共に健康で、豊かな未来に希望をもった青少年の育成を推進します。

### 2 非行防止活動の推進

青少年問題協議会を中心に、家庭・学校・地域関係機関との連携により、地域に密着した非行防止活動を展開し、青少年の健全な育成を推進します。

### 3 家庭教育の支援

子どもの成長や人間形成にとって重要な、家庭教育についての正しい知識や共通の問題点について家庭、学校、地域が協働し、問題を解決するための学習機会の充実を図り、家庭や地域の教育力の再生に努めます。

## 主な事業

事業名	担当課
子ども会活動事業	生涯学習課
青少年相談員活動事業	生涯学習課
青少年問題協議会事業	生涯学習課
家庭教育支援事業	生涯学習課

## 第4部 スポーツ・レクリエーションの振興

### 目的

#### 富津に元気を、気軽にスポーツ・レクリエーション

子どもから高齢者までが「誰でも、どこでも、いつでも」それぞれの体力、年齢、目的に応じて気軽にスポーツ・レクリエーションに親しみ、心身共に健康で明るく豊かな生活を送れるような環境整備、普及啓発に努めます。

### 現状と課題

近年、生活の利便性の向上に伴い、日常生活における身体活動の場や機会が減少しています。また、ライフスタイルの変化、価値観の多様化、健康志向の高まりなどに伴い、市民のスポーツ・レクリエーションに対するニーズも多様なものとなっています。

こうした状況において、スポーツ・レクリエーションが心身共に健康な生活を営むうえで不可欠なものとなっています。

健康づくりのための軽スポーツから競技スポーツまでの幅広いニーズに対応し、地域におけるスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、市民と密着したスポーツ活動を実践しているスポーツ推進委員やスポーツ・レクリエーション推進員との連携を図る必要があります。

また、地域で誰もが気軽にスポーツ活動を行えるよう、機会の拡充とともに、スポーツ施設の計画的な整備を行う必要があります。

### 施策指標

指標名	平成 27 年度 (現状値)	平成 32 年度 (目標値)
スポーツ関連の行事参加者数	15,603 人	16,000 人
※5 総合型地域スポーツクラブの数	1 か所	2 か所

※5 総合型地域スポーツクラブ…地域住民が主体的に運営する総合的なスポーツクラブのことで、多世代、多種目、多志向という特徴を持っている

## 展開施策

### 1 スポーツ・レクリエーション施設の整備

市民ふれあい公園や運動公園、総合社会体育館などの既存のスポーツ・レクリエーション施設の適切な管理に努め、利用促進を図ります。

また、地域のスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、学校体育施設の開放を推進します。

### 2 地域におけるスポーツ・レクリエーションの振興

市民の健康づくり、体づくりの意欲高揚を図るため、ふれあいスポーツフェスタや千葉県民マラソン大会をはじめ、各種スポーツ大会や教室を開催、支援します。

また、市民が身近なところで気軽にスポーツに親しめるよう、スポーツ健康都市宣言の検討やニュースポーツ<sup>※6</sup>の振興、総合型地域スポーツクラブの設立を促進します。

## 主な事業

事業名	担当課
富津市ふれあいスポーツフェスタ事業	生涯学習課
社会体育振興事業（各種スポーツ大会等）	生涯学習課
スポーツ少年団交流事業	生涯学習課
市体育施設管理運営事業	生涯学習課

※6 ニュースポーツ…年齢や性別、体力、ハンディキャップの有無に関わらず、誰もが手軽に楽しむことができるスポーツの総称

## 第5部 文化・芸術活動の推進

### 目的

#### 富津が輝く、創造の促進と伝統の継承

市民の文化意識の高揚を図り、主体的な文化芸術活動を促進します。  
また、郷土の伝統芸能や祭事などの保存・伝承を図ります。

### 現状と課題

社会環境の変化により、市民の価値観は、ゆとりやうるおいなど、精神的な充足を  
求める傾向が強まり、文化・芸術に対する欲求も年々高まっています。

このために、市民ニーズを的確に把握し、市民が自主的な文化活動を通して個性や  
創造性を養う機会と体制づくりに努める一方、本市の特色ある歴史・郷土文化の発展  
と継続に努め、未来を担う子どもたちへと継承していく必要があります。

### 施策指標

指標名	平成27年度 (現状値)	平成32年度 (目標値)
市民文化祭参観者数	17,469人	18,000人

### 展開施策

#### 1 文化・芸術活動の推進

文化・芸術活動をより多くの市民に身近なものとして感じてもらえるよう、文化・  
芸術活動の基盤整備を進めるとともに、利用しやすい公民館運営に努めます。

市民の文化・芸術活動の機運を高めるため、活動発表の場を引き続き提供すると  
ともに、広報を充実させます。

郷土を愛する心を**育み**、地域コミュニティづくりの核とするため、伝統行事や郷  
土芸能の育成保護のための支援を行います。

また、埋立記念館については、**公民館運営審議会、文化財審議会、社会教育委員  
会議等で今後のあり方を協議し、よりよい活用を検討してまいります。**

## 主な事業

事業名	担当課
市民文化祭事業	公民館
市民会館文化事業	公民館



## 第6部 文化財の保護と活用

### 目的

#### 富津の誇り、文化遺産を守り、未来へつなぐ

市民が本市の恵まれた歴史や文化に誇りをもてるよう、文化財の保存・活用に努めます。

### 現状と課題

本市には国指定を含む数多くの文化財が残されていますが、都市化の進展に伴う周辺環境の変化などにより、貴重な文化遺産が失われつつあります。

市民の共有財産である文化財を守り伝えるために、調査、記録、保存及び伝承のための後継者育成などの保護施策を充実させる必要があります。

#### ■市内文化財の状況

(平成27年度)

区分	合計	国指定	国登録	県指定	市指定
文化財計	85	4	4	17	60
有形文化財	46			8	38
民俗文化財	4			1	3
史跡・天然記念物	31	4		8	19
登録有形文化財	4		4		

資料 生涯学習課

### 施策指標

指標名	平成27年度 (現状値)	平成32年度 (目標値)
指定・登録文化財の件数	85件	87件
史跡見学会・講演会参加者数	754人	850人

## 展開施策

### 1 文化財の保護・調査

市内に数多く存在する文化財についての調査を積極的に実施し、その保護に努めます。特に、内裏塚古墳群全体の国指定史跡化に向けて調査を行うとともに、整備を進めます。

また、情報提供の充実を図り、文化財が良質な状態で後世に引き継がれるよう努めます。

### 2 文化財の活用

市民の文化財に対する認識を深めるため、史跡案内板・説明板の整備を進めます。

また、古墳群マップを活用した史跡見学会・講演会や、小学校への史跡情報の提供など、文化財を活用した学習機会を設けるとともに、適正維持にも努め、観光資源としての活用を図ります。

## 主な事業

事業名	担当課
市内遺跡発掘調査事業	生涯学習課
文化財保護事業（史跡整備・周知板設置等）	生涯学習課